

米子市5歳児健康診査（5歳児よなごっこ健診）の実施状況について（令和7年度事業報告）

1 目 的

発達、情緒、社会性、集団行動の場面等で課題のある児童を早期に発見し、児童や保護者へ早期に支援を開始するための気づきの場である。

保護者が児童の特性に気づき、より健全な育成のための支援につなげる。

保護者の就学への不安解消、児童への適切な対応や就学に向けての準備につなげる。

2 健診フロー

（1）一次健診 「5歳児よなごっこ健診アンケート」

①対象児童の誕生月別に、年4回に分けて質問紙を郵送し、回答を返送してもらう。

②保護者の回答を3段階で評価（支援の必要性が「低い」「いくらかある」「ある」）

③健診結果は郵送により全保護者に通知

（2）5歳児相談会

①対象

- ・一次健診結果が「支援の必要性がある」児童で、保護者が相談会を希望する場合
- ・一次健診結果が「支援の必要性はいくらかある／低い」児童でも、保護者が相談会を希望する場合

②内容

- ・心理士、発達支援員による心理・発達・子育て相談
- ・学校教育課指導主事による就学相談

（3）二次健診

①対象

- ・一次健診結果が「支援の必要性がある」等の児童で、5歳児相談会ではなく、医師の診察を希望する場合
- ・5歳児相談会に参加した結果、保護者が医師の診察を希望する場合

②流れ

計測→問診→心理士による面談→医師の診察、心理士・発達支援員による相談（心理・発達・子育て）、就学相談（希望者）

3 実施状況（第1～4期） 対象者数 1,112人 （令和6年度）

① 一次健診「5歳児よなごっこ健診アンケート」返送者	1,069人／1,112人	(96.1%)	(91.8%)
② 一次健診結果が「支援の必要性がある」の対象者	248人／1069人	(23.2%)	(25.0%)
③ 5歳児相談会を受けた対象者	115人／248人	(46.4%)	(28.9%)
④ 二次健診を受けた対象者	31人／115人	(27.0%)	(43.2%)

4 対応状況

- ・アンケート未返送者については、はがきによる再勧奨を2回実施
- ・一次健診前に園と保護者が集団の様子について情報共有の機会を設け実施
- ・5歳児相談会・二次健診受診者については、健診後、必要に応じて巡回相談や個別相談等の発達支援事業を提案・実施
- ・5歳児相談会等を受けない対象者には、「関わり方のコツ」「相談窓口」などについて案内。また通園施設と連携しながら勧奨等を実施

5 今後の方針

- ・保育施設等への巡回相談や個別相談等、発達支援事業の利用促進
- ・5歳児相談会・二次健診対象者の相談支援と就学移行支援を計画的に実施
- ・5歳児相談会・二次健診の申請を電子化し、保護者が日程を選択できるよう変更